

理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：前島 潤

所属：横浜市立新吉田第二小学校

課題名：「自然とふれあいながら、生きる力を育む学校づくり」

1. 課題の主旨

本校は、平成11年より校内のエコアップに取り組みながら、特色作りとして身近な自然・学校ビオトープに関わる自然体験活動を各学年に位置付け、実践を重ねてきた。その結果が、児童・学校の活性化として、少しずつ表れている。さらに、子どもたちが、自然とふれあいながら、生き生きと学校生活を送ることができるよう、自然体験活動を中心とする環境教育を重視し、展開していきたいと考えている。

2. 活動状況

- ① 各学年が、日常的にふれあっている学習環境（ビオトープなど）の創造・整備。
- ・ 1年―花の栽培活動→学年の花壇に花の種を蒔いたり、苗を植えたり、球根を植えたり校内の美化整備に一番下の学年の児童が貢献した。
 - ・ 2年―地域の畑を借りて、さつまいもを育てる活動を半年間継続し、見事なさつまいもを収穫することができた。下級生の1年生を招待してさつまいもパーティーを開き、次年度への収穫の喜びを感じ、次年度への引き継ぎをすることができた。野菜用のプランターでトマト、きゅうり、なすなどの野菜を育て収穫し、観察記録を取ることができた。
また、プールから救出した、やご（ギンヤンマ・シオカラトンボなど）を教室で羽化するまで大切に育てた。
 - ・ 3年―モンシロチョウの幼虫の観察のために、キャベツを苗から育てた。また、オクラを種まきから、実の収穫まで栽培活動を続け、成長の様子を観察した。へちま棚を活用して、昆虫が生息しやすい環境づくりに現在も挑戦している。
 - ・ 4年―ビオトープの改修活動に児童自らが携わり、水性の生き物が住みやすい環境を復活させることができた。モツゴやメダカの個体数を増やす努力を現在進めている。
 - ・ 5年―前年に作った水田で米作りの活動を行った。田おこし、田植え、草取り、鳥よけネットはり、稲刈り等の作業を地域の方の協力を得て、無事に行うことができた。収穫量は少なかったが、児童は収穫できた満足感を十分味わうことができた。
 - ・ 6年―早瀬川の生き物の観察や川を美化する活動を継続してきた。早瀬川で捕ってきた魚を校内の水族館で展示したり、フェスティバルで早瀬川に関することを発表したりした。また、川に行くたびにごみを回収して少しでもきれいな自分たちの川になるようにつとめた。

② 校内美化活動の推進

- ・さわやか活動では、全校児童が地域の方々と一緒に校内、校外の清掃活動を行った。
- ・校内を花でいっぱいにする活動を1年を通して行った。児童の環境委員会、保護者のガーデニング隊が、プランターにパンジー、さくらそう、マリーゴールドの苗を精力的に植えた。

③ 校内研究としての取り組み

- ・重点研究で環境教育に取り組み、前半は国語科と自然体験活動との積極的な関連を図り、後半は、理科と社会科の授業実践を通して環境教育に迫っていった。
- ・職員の研修として、環境教育に関する講演を聴き、環境教育とその進め方について指導を受けた。また、早瀬川で職員研修をし、川に入り魚を捕ったり、トンボの様子を観察したり児童が体験する川の活動と同じ体験をすることができた。

3. 結果

- ①各学年の学習環境の創造・整備について一どの学年も子どもたちが意欲的に、動植物とふれあうようになり、動植物によりやさしくなってきた。2年生のヤゴの飼育活動の結果、ヤゴがとんぼに羽化する様子を目の当たりにしたとき生命の尊さを実感させることができた。また、5年生も、米作りに積極的にに関わり、6年生は、早瀬川を少しでも親しみやすい川になるように努力していた。
- ②校内美化活動の推進—ふれあい活動は、地域の方々と児童が直接ふれあい清掃活動のできる唯一の機会でお互いに気持ちのよい汗をかくことができた。多くの苗とプランターで花の目立つ環境を作ることができた。
- ③校内研究としての取り組み—授業後の研究会で授業と環境教育との関連等を少しずつではあるが検証することができた。また、職員研修では、児童と同じ体験をすることの大切さ、そして楽しさがわかり、有意義な研修であった。

4. 今後の課題と発展

- 子どもたちの活動の様子を見ていると、まだ意欲的積極的に関われない子もいる。地域や学校にある自然環境をさらに生かし、動物や植物に関わる活動が子どもたち一人ひとりにとって、楽しくより意欲的なものになるように、さらに環境の整備やよりよい指導を進めていきたい。
- 環境教育に関わる活動を通して、生き物に対するやさしさや生命の大切さなど、『こころを育てる』教育も課題である。

5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

- 経費節減による学校教育費の削減があり、貴財団からの助成は、本当にありがたく感謝申し上げます。助成金は、大切に有効に使用させていただきました。ありがとうございました。